



かなおか まさひろ
金岡 正洋
(北九州市)

トランプに勝った日本人

北九州市出身ですが、東京生活が長くなり地元の話は余り知らず浦島太郎状態でした。然し乍ら退職後ここ数年は地元のホテルに入院中の母親の介護もあり、年に数回は北九州に戻ることに、お蔭で故郷再発見を楽しんでおります。

さて、私は商社に就職した事も有り海外勤務が長くブラジル、米国合わせ計二十年もの海外生活を送る事になりました。県人会の田島登吾事務局長とは、最初のブラジル駐在で一緒に過ごさせていただいた縁も有り今でも親しくさせていただいております。

長い駐在の間色々な事を経験しましたが中でも一番記憶に残る事を以下に記します。ニューヨーク駐在の折(一九八六年頃)仕事の一環である有名なオークションハウス、サザビーで競りに出ている話題の骨とう品を落とすことになったのです。目

玉はあの有名な映画「カサブランカ」で黒人のピアノ弾きサムが引いていたピアノでした。日本の顧客からの要請でした。

私に与えられた予算は十万^{ドル}。何人ものバイヤーが手を挙げていましたが段々数が減っていき、最後は私ともう一人のバイヤーの一騎打ちになりました。暫く二人での競りが続き愈々私に任せられた予算の十万ドルに達しようとお有終いと観念し掛けましたが、まよ後一割程度なら後で何とかなるなど十一万ドルを腹を括って提示しました。何とその相手が其処で降りてしまったのです。

という事で無事買い付けは成功したのですが、翌朝ゴルフに出掛けようとしていた所、会社の同僚から電話が掛かって来ました。曰く、「金ちゃん、君の名前をラジオが繰り返しているよ。ドナルドトランプを破った日本人ビジネスマンがいると！」当時既に若手の不動産、カジノ王として名をなしつつあったトランプに取り、十万^{ドル}程度は大した事では無かったのですが、プライベートマターとしてその辺で諦めたのでしよう。今では懐かしい思いです。